

授業科目 物理療法学

【担当教員名】 菅原 和広		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	○	
【概要・一般目標：G10】					
1. 物理療法の種類や原理を理解する。 2. 物理療法の臨床適応と効果とリスクを理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 物理療法に使用される治療機器を説明できる。 2. 各種治療機器の原理・特色を説明できる。 3. 治療機器の使用による生体への影響を理解できる。 4. 利用者および利用部位へのリスクを理解できる。 5. 物理療法各種機器を実施し、臨床適応と効果を理解できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	物理療法の基礎、電気治療法（1）			1～5	講義、担当：菅原 和広
2	電気治療法（2）			1～5	講義、担当：菅原 和広
3	温熱療法・寒冷療法・水治療法（1）			1～5	講義、担当：菅原 和広
4	温熱療法・寒冷療法・水治療法（2）			1～5	講義および演習、担当：菅原 和広
5	光線療法			1～5	講義、担当：菅原 和広
6	超音波療法			1～5	講義、担当：菅原 和広
7	その他の物理療法（持続的他動運動、振動刺激など）			1～5	講義、担当：菅原 和広
8	まとめ			1～5	講義、担当：菅原 和広
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		理学療法テキスト 物理療法学・実 習	石川 朗、日高正巳、玉木 彰 他	中山書店	2014・2,400円＋税
参考書					
その他の資料		最新物理療法の臨床適応	庄本康治	文光堂	2012・8,000円＋税
【評価方法】 出席状況、期末試験で総合的に評価する。			【履修上の留意点】		